



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 アジアグロースキャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号 6993 東証第2部)
問合せ先 総務部長 岩瀬 茂雄
(TEL. 03-3448-7300)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 親会社株主に 帰属する 1 株 あたり当期純 利益 |
|------------------------------|--------|-------|--------|-------------------------|------------------------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 18,823 | 2,850 | 2,658 | 1,051 | 13.46 |
| 今回修正予想 (B) | 20,894 | 2,077 | 1,420 | 398 | 4.94 |
| 増減額 (B-A) | 2,071 | △773 | △1,238 | △653 | |
| 増減率 (%) | 11.0 | △27.1 | △46.6 | △62.1 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期) | 17,237 | 2,501 | 2,053 | 698 | 9.00 |

2. 修正の理由

当社において、本日（平成 27 年 11 月 12 日）公表いたしました「平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」に記載のとおり、当社連結子会社である株式会社大黒屋（以下「大黒屋」といいます。）の上期の実績が、国内売上（店舗+本部売上）につきましても、計画比 48 百万円増と計画通りの売上を確保しましたが、免税売上につきましても、当初、前年比 52.6%増となった 2014 年 10 月から 2015 年 3 月の免税販売を基準に、その後も免税需要は高止まりするものと想定しておりましたが、2015 年 4 月から 6 月については、計画対比では 143 百万円減（8.0%減）となったものの、前年同期比 487 百万円増（42.0%増）と好調を維持しました。しかし、同年 7 月のチャイナショック以降、中国の一部のバブルが崩壊したこと等により、従来の高額ブランド品に対する中国人需要の勢いが弱まり、同年 7 月から 9 月では当初計画に比べ予想以上に落ち込み 359 百万円減（22.2%減）となった結果、当第 2 四半期連結累計期間における大黒屋の売上高は、前年同期比 705 百万円増（9.0%増）となったものの、計画比

491 百万円減 (5.4%減) の 8,534 百万円となりました。

営業利益については、売上高の前期比増加に伴い本部仕入のウェイトが高くなったことにより売上総利益率が当初計画を下回り、また六本木店オープンなどに伴う広告宣伝の強化等により販売費一般管理費が増加したことにともない、計画対比 409 百万円減 (31.6%減) の 887 百万円となりました。

また、上記の大黒屋の上期の実績を踏まえて下期 (平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) における大黒屋の業績予想の見直しを行ったこと、及び、当社連結子会社である株式会社ディーワンダーランド (以下「DW」といいます。) が英国の個人向け質金融事業会社 SPEEDLOAN FINANCE LIMITED (本社：英国 レディング；マネージングディレクター：スティーブン・ブラウマン) (以下「SFL」といいます。) を DW の完全子会社としたこと (平成 27 年 11 月 2 日付け公表の当社の「当社連結子会社による英国金融サービス 持株会社の株式取得に伴う英国事業会社の孫会社化完了に関するお知らせ」ご参照) に伴い SFL を 10 月 30 日より当社の連結子会社として取り込んだことにより、売上高は当初計画比 2,071 百万円増の 20,894 百万円、営業利益は当初計画比△773 百万円の 2,077 百万円となる見込みであり、更に、既存借入金のリファイナンス及び SFL 買収に係る買収資金の調達を目的とした大黒屋における融資契約の締結に伴う銀行手数料 237 百万円並びに SFL 買収に伴う追加経費 220 百万円の増加に伴い、経常利益は当初計画比△1,238 百万円の 1,420 百万円、当期純利益は当初計画比△653 百万円の 398 百万円となる見込みです。

以上を踏まえ、平成 28 年 3 月期通期の当社の連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

以上